

施策番号 4-1-3	施策名 青少年の健全育成	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり			
		政策名	豊かな心を育む人づくりの推進			
	主管課	社会教育課	課長名	松浦 智幸	内線	517
	施策関係課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果	
青少年が、社会のルールを身につけることが出来るような体験学習への参加や団体の連携などを促進し、健全育成をすすめます。		町民	団体行動や社会生活を学び、社会のルールを身につける					自ら判断する力や責任感が身につけられる	
成果指標	説明	単位	23年度(策定時)	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
①	芽室町の小中学生は基本的ルールを身につけていると感じる町民の割合	%	40.7	54.0	58.5	45.0	45.0		
②									
③									
成果指標設定の考え方	平成25年度実績で計画策定時の目標に到達しているが、青少年の健全育成に関わることから、引き続き45%以上を維持する。								

2. 施策の事業費

	27年度決算	28年度決算
施策事業費(千円)	8,850	7,856
人工数(業務量)	1.1421	0.7977

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①平成28年度の成果評価(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標は前年度を上回る →青少年健全育成協議会をはじめとする関係機関の連携による事業展開が要因
②平成30年度の目標値達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	・目標値をクリア →「寺子屋めむろ」「わんぱくキャンプ」「通学合宿めむろ塾」など、青少年事業や、青少年健全育成協議会の町民集会の工夫開催の継続
(2) 施策の成果評価に対する平成28年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	少年教育活動運営事業 青少年健全育成協議会支援事業 地域子ども会育成連絡協議会 芽室町PTA連合会活動支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・青少年健全育成のための関係機関の連携強化 →青少年健全育成町民集会で、大幅に応募が増加した3つの心運動に係るポスターや標語の表彰、オリンピック出場を果たした土井慎悟氏の特別講演や芽室西中学校の吹奏楽演奏発表を実施し、参加者の増加を図り事務事業の充実に繋がった。 ・基本的な生活習慣など青少年の健全育成 →「通学合宿めむろ塾」や夏休みや冬休みに開催している「寺子屋めむろ」など、団体生活や体験学習を通し、発達段階に応じた生活習慣や社会ルールを身につける事業を展開が施策の成果向上に繋がった。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子供会活動では、休会となる町内会が増加 <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの減少に伴う活動団体数の減少→複数町内会など広域的な活動の在り方について検討が必要
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	

5. 施策の課題認識(現状の課題、新たに取り組むべき課題)

<p>課題① ネットトラブル等青少年の健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話・スマートフォン・パソコンなど、ネットトラブルから子どもたちを守る取組み利用ルールの在り方検討(平成29年度予定)。 <p>課題② 基本的な生活習慣や多様な体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の教育活動(わんぱくキャンプ、通学合宿など)で、基本的な生活習慣とともに食育の観点も取り入れた事業の充実。
--

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	●成果指標は向上しており、健全育成の取組も定着しつつあることから、施策として前進していると言える。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	●食育計画の関連事業、施策とも連携し、取組を進めていてもらいたい。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した</p> <p>C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した</p> <p>D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない</p> <p>E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した</p>					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	●成果指標が向上しており、施策として前進していると評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ●成果指標(芽室町の小中学生は基本的ルールを身につけていると思う町民の割合)の目標値が45%と低いため、設定を見直すことも検討してもらいたい。 ●他自治体ではネットの利用ルールに、利用時間を盛り込むケースもあるので、芽室町のルール作成にあたって参考にしてもらいたい。 ●子どもが地域活動に参加しやすい環境づくりをしてもらいたい。 	<p>A: 実現した</p> <p>B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した</p> <p>C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した</p> <p>D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない</p> <p>E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した</p>					